

GXTI の概要及び作成までの経緯

令和 7 年 2 月 2 8 日（更新）
企画調査課 知財動向班

●GXTI の概要

昨今、産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造を、クリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体の変革、すなわち GX を実行することが求められています。

また、企業等においては、企業価値や社会的価値の向上を目的として、自社が提供する価値（製品、サービス）が GX にどのように貢献できるのかについて、客観的に示す取組も進められています。加えて、企業等は、改訂コーポレートガバナンス・コード（2021 年 6 月）又は気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言に基づく気候変動問題への対応に係る開示が求められています。

GX に関する技術動向の俯瞰や、各企業等における GX に関する取組及び事業への気候変動の影響等を客観的に示す手法として、特許情報の分析が有効な手法の一つとして考えられます。

GXTI が、GX 関連技術の特許情報分析をする際の共通資産として利用されることで、企業の経済的価値及び社会的価値の向上に寄与し、環境問題を解決するイノベーションが促進されることを期待しています。

●GXTI 作成までの経緯

GXTI は、GX 技術に深い知見を有する外部有識者 6 名からなる検討会における 2 回（2022 年 1 月 6 日、2022 年 4 月 6 日）の議論を経て、温室効果ガスの削減効果が大きいとされる技術を選定し、作成しました。

また、各技術区分に示された特許検索式は、各分野における特許庁審査部の特許審査官が作成しました。
有識者検討会のメンバー（五十音順、敬称略）

秋元 圭吾	公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループリーダー・主席研究員
尾山 宏次	国立研究開発法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー
古山 通久	信州大学 先鋭材料研究所 教授
田中 謙司	東京大学大学院 工学系研究科 技術経営戦略学専攻 准教授
土肥 英幸	ENEOS 総研株式会社 執行役員 エネルギー技術調査部長 (前 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 技術戦略研究センター 環境・化学ユニット長)
中垣 隆雄	早稲田大学 理工学術院 教授

有識者検討会のオブザーバ

経済産業省 産業技術環境局 エネルギー・環境イノベーション戦略室
環境省 地球環境局 総務課 脱炭素化イノベーション研究調査室